



## 2024年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年10月12日

上場会社名 株式会社エーアイティー 上場取引所 東  
コード番号 9381 URL <https://www.ait-jp.com/>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)矢倉 英一  
問合せ先責任者 (役職名)執行役員 経理財務部長 (氏名)内田 利明 (TEL) 06(6260)3450  
四半期報告書提出予定日 2023年10月16日 配当支払開始予定日 2023年10月27日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年2月期第2四半期の連結業績(2023年3月1日~2023年8月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第2四半期	25,324	△29.2	2,204	△20.0	2,334	△16.8	1,545	△17.5
2023年2月期第2四半期	35,744	32.5	2,754	79.6	2,805	67.7	1,873	92.3

(注) 包括利益 2024年2月期第2四半期 1,900百万円 (△26.8%) 2023年2月期第2四半期 2,597百万円 (102.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第2四半期	65.77	—
2023年2月期第2四半期	79.76	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第2四半期	25,581	17,284	66.4
2023年2月期	24,888	16,602	65.6

(参考) 自己資本 2024年2月期第2四半期 16,987百万円 2023年2月期 16,318百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	30.00	—	50.00	80.00
2024年2月期	—	40.00	—	—	—
2024年2月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年2月期の連結業績予想(2023年3月1日~2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	0.8	5,300	0.2	5,620	0.3	3,700	0.4	157.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年2月期2Q	23,913,600株	2023年2月期	23,913,600株
2024年2月期2Q	420,008株	2023年2月期	420,008株
2024年2月期2Q	23,493,592株	2023年2月期2Q	23,493,603株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当第2四半期において、アナリスト・機関投資家向けの決算説明会は開催いたしません。決算補足説明資料については、当第2四半期決算短信開示後に、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことにより、社会経済活動の正常化が進んだことで、緩やかに回復しております。また、個人消費においても、人流やインバウンド需要の回復が進み、徐々に持ち直しの動きが見られました。一方、従来の日常生活を取り戻しつつある中で、不安定な世界情勢や為替相場の円安進行、原材料価格の高騰などに端を発した物価上昇の影響により、消費者の節約志向が高まっている面もあり、依然として経済の先行きは不透明な状況が継続しております。

当社グループを取り巻く環境としては、コロナ禍において高騰した海上運賃は、需給バランスの正常化に伴い、昨年の秋口以降下落しており、欧米や東南アジア航路のみならず、貨物取扱量の最も多い中国航路でも海上運賃の下落が続く状況となりました。

このような中、当社グループは、主力である国際貨物輸送のみならず、通関や配送、検品・検針・加工業務といった輸出入の付帯業務の受注増加に向けて、精力的に営業活動を展開してまいりました。また、競争力を向上させるためにデジタル戦略を強く推進し、本年6月には貨物検索サービスを刷新するなど、顧客の利便性向上に繋がるための施策に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間では、外出機会が増したことでアパレル関連や旅行関連の製品の取扱いに復調の動きが見られました。一方でコロナ禍での巣ごもり需要により、輸入量が増加した雑貨関連や家具等の消費財は、需要の一巡や輸入者の在庫調整等により輸入量が減少しており、国際貨物の取扱量は低調な推移となりました。さらには、海上輸送の運賃下落の影響も重なり、営業収益は減少する結果となりました。しかしながら、運賃水準の下落等で営業原価が抑制されたことで売上総利益率は改善し、コストの見直しや削減、抑制も継続して行ないながら、可能な限りの利益創出に努めてまいりました。また、それに加えて、前連結会計年度で実施した中国での一部の事業所閉鎖により、事業所の運営コストが低減できました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は25,324百万円（前年同期比29.2%減）、営業利益は2,204百万円（前年同期比20.0%減）となりました。また、経常利益は、前年同期に計上した為替差損が為替差益に転じたことなどから2,334百万円（前年同期比16.8%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,545百万円（前年同期比17.5%減）となりました。

セグメント別の経営成績は次の通りであります。

#### ①日本

当第2四半期連結累計期間では、前年同期と比較し、海上輸送の運賃水準が下落する中で、輸入者が重荷となっていた物流コストは低減してきております。この状況下、当社グループは、新規顧客の獲得に注力するとともに既存顧客の取引拡大を目指し、営業活動を推進してまいりました。しかしながら、前年同期よりも円安の環境下において、商品の在庫調整やコロナ需要の一巡等もあって、輸入貨物の荷動きが弱い状況で推移することとなりました。

その結果、海上輸送の取扱コンテナ本数は、輸入で112,661TEU（前年同期比10.1%減）、輸出入合計では119,649TEU（前年同期比10.4%減）と前年同期を下回りました。また、通関受注件数も貨物の取扱量が減少したことで、67,733件（前年同期比3.8%減）と前年同期を下回る結果となりました。

以上のことから、日本における営業収益は、運賃水準の下落と取扱高の減少の影響で21,839百万円（前年同期比30.4%減）と前年同期を下回りました。セグメント利益は、売上総利益率の改善効果とDXの推進等により人件費や事業活動における費用の抑制に努めたことで1,900百万円（前年同期比23.4%減）となり、営業収益よりも減少率は縮小しました。

#### ②中国

日本向け貨物の取扱量が減少したことで、中国国内での輸送関連の収益機会も減ることとなり、その結果、中国における営業収益は2,976百万円（前年同期比16.0%減）となりました。一方で、売上総利益率の改善と収益性向上に向けての取り組みが奏功し、セグメント利益は237百万円（前年同期比23.9%増）となりました。

#### ③その他

ミャンマーの子会社での検品・検針における収益、国内物流の収益が回復傾向にある一方で、台湾及びベトナムの子会社では、日本向け貨物の取扱量が減少し、その結果、営業収益は508百万円（前年同期比37.2%減）となり、セグメント利益は66百万円（前年同期比18.6%減）となりました。

(注) TEU (Twenty-foot Equivalent Unit、20フィートコンテナ換算) とは、海上コンテナの数量を表す単位で、20フィートコンテナ1個分を1TEUと計算します。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

当第2四半期連結累計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ692百万円増加し25,581百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ710百万円増加し21,759百万円となりました。これは主に、立替金が421百万円、現金及び預金が206百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ18百万円減少し3,821百万円となりました。これは主に、顧客関連資産が131百万円、のれんが54百万円減少した一方で、有形固定資産が161百万円増加したことによるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債総額は、前連結会計年度末に比べ10百万円増加し8,296百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ199百万円減少し6,395百万円となりました。これは主に、未払法人税等が262百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ210百万円増加し1,901百万円となりました。これは主に、退職給付に係る負債が48百万円増加したことによるものであります。

## (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ681百万円増加し17,284百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1,545百万円を計上した一方で、剰余金の配当により1,174百万円が減少したことによるものであります。また、為替換算調整勘定が275百万円増加したことによるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ197百万円増加し、15,521百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの内訳は次の通りであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は1,410百万円（前年同期比57百万円減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益を2,335百万円計上したことのほか、減価償却費324百万円、利息及び配当金の受取額208百万円、売上債権の減少63百万円、仕入債務の増加57百万円、のれん償却額54百万円等の資金の増加要因に対し、法人税等の支払額1,072百万円、立替金の増加421百万円、持分法による投資利益91百万円等の資金の減少要因によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は105百万円（前年同期は103百万円の収入）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出55百万円、差入保証金の差入による支出40百万円、有形固定資産の取得による支出39百万円等の資金の減少要因に対し、定期預金の払戻による収入53百万円等の資金の増加要因によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は1,352百万円（前年同期比390百万円増）となりました。これは主に、配当金の支払1,174百万円等の資金の減少要因によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループでは、毎年9月から12月の間で秋冬物のアパレル商材や年末年始の商戦に向けた商品の輸入が活発になり、貨物の取扱量が増加する時期となります。

2024年2月期の通期連結業績予想につきましては、輸入貨物の荷動きや運賃動向等の影響を慎重に見定めていることから、当初予想を据え置いておりますが、今後業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,374	15,580
受取手形及び売掛金	4,159	4,155
立替金	1,263	1,684
その他	284	378
貸倒引当金	△33	△39
流動資産合計	21,048	21,759
固定資産		
有形固定資産	606	767
無形固定資産		
のれん	652	598
顧客関連資産	1,579	1,447
その他	174	163
無形固定資産合計	2,406	2,209
投資その他の資産		
投資有価証券	551	512
その他	307	362
貸倒引当金	△31	△30
投資その他の資産合計	826	844
固定資産合計	3,840	3,821
資産合計	24,888	25,581
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,679	2,778
1年内返済予定の長期借入金	1,700	1,700
未払法人税等	1,051	788
賞与引当金	442	452
役員賞与引当金	37	20
その他	684	654
流動負債合計	6,594	6,395
固定負債		
繰延税金負債	422	391
退職給付に係る負債	681	730
役員退職慰労引当金	182	198
資産除去債務	226	226
その他	178	355
固定負債合計	1,691	1,901
負債合計	8,286	8,296

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	271	500
資本剰余金	5,274	5,045
利益剰余金	10,323	10,693
自己株式	△392	△392
株主資本合計	15,476	15,846
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	36
為替換算調整勘定	832	1,108
退職給付に係る調整累計額	△4	△4
その他の包括利益累計額合計	842	1,140
非支配株主持分	283	297
純資産合計	16,602	17,284
負債純資産合計	24,888	25,581

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年3月1日 至2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年8月31日)
営業収益		
輸送事業収入	35,744	25,324
営業収益合計	35,744	25,324
営業原価		
輸送事業仕入	29,983	20,219
営業原価合計	29,983	20,219
売上総利益	5,761	5,105
販売費及び一般管理費	3,006	2,900
営業利益	2,754	2,204
営業外収益		
受取利息	9	14
受取配当金	3	3
持分法による投資利益	78	91
為替差益	-	2
その他	19	24
営業外収益合計	111	136
営業外費用		
支払利息	7	6
為替差損	52	-
その他	0	0
営業外費用合計	60	6
経常利益	2,805	2,334
特別利益		
固定資産売却益	33	2
特別利益合計	33	2
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産除却損	23	1
事業構造改革費用	21	-
特別損失合計	44	1
税金等調整前四半期純利益	2,794	2,335
法人税、住民税及び事業税	923	822
法人税等調整額	△49	△62
法人税等合計	873	759
四半期純利益	1,920	1,576
非支配株主に帰属する四半期純利益	46	31
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,873	1,545

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益	1,920	1,576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	21
為替換算調整勘定	602	275
持分法適用会社に対する持分相当額	73	26
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	677	324
四半期包括利益	2,597	1,900
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,514	1,843
非支配株主に係る四半期包括利益	82	57

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,794	2,335
減価償却費	327	324
のれん償却額	54	54
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	9	4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	19	5
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△17	△16
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4	49
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	14	15
受取利息及び受取配当金	△13	△18
支払利息	7	6
持分法による投資損益 (△は益)	△78	△91
固定資産売却損益 (△は益)	△33	△2
固定資産除却損	23	1
事業構造改革費用	21	-
預り金の増減額 (△は減少)	△52	△1
売上債権の増減額 (△は増加)	△977	63
立替金の増減額 (△は増加)	△653	△421
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,062	57
その他	△309	△84
小計	2,202	2,280
利息及び配当金の受取額	102	208
利息の支払額	△7	△6
事業構造改革費用の支払額	△51	-
法人税等の支払額	△778	△1,072
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,467	1,410
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△189	△55
定期預金の払戻による収入	341	53
有形固定資産の取得による支出	△54	△39
有形固定資産の売却による収入	39	5
無形固定資産の取得による支出	△35	△28
差入保証金の差入による支出	△6	△40
差入保証金の回収による収入	9	0
その他	△0	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	103	△105

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△0	-
配当金の支払額	△845	△1,174
その他	△116	△177
財務活動によるキャッシュ・フロー	△962	△1,352
現金及び現金同等物に係る換算差額	561	245
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,170	197
現金及び現金同等物の期首残高	12,419	15,323
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,589	15,521

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年3月1日 至 2022年8月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	中国 (注) 1	計				
営業収益							
顧客との契約から 生じる収益	31,333	3,541	34,874	809	35,683	—	35,683
その他の収益	60	—	60	—	60	—	60
(1) 外部顧客に対する 営業収益	31,393	3,541	34,935	809	35,744	—	35,744
(2) セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	62	2,862	2,924	299	3,224	△3,224	—
計	31,456	6,403	37,859	1,109	38,969	△3,224	35,744
セグメント利益	2,480	191	2,672	81	2,754	—	2,754

(注) 1. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人です。なお、「中国」の区分では、「暖新国際貿易(上海)有限公司」が現在清算手続中であります。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、台湾、ベトナム及びミャンマーの現地法人です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	中国 (注) 1	計				
営業収益							
顧客との契約から 生じる収益	21,779	2,976	24,755	508	25,263	—	25,263
その他の収益	60	—	60	—	60	—	60
(1) 外部顧客に対する 営業収益	21,839	2,976	24,815	508	25,324	—	25,324
(2) セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	41	2,124	2,166	237	2,403	△2,403	—
計	21,881	5,100	26,982	745	27,727	△2,403	25,324
セグメント利益	1,900	237	2,138	66	2,204	—	2,204

(注) 1. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人です。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、台湾、ベトナム及びミャンマーの現地法人です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。